



春夏秋冬

2018
vol.12
季刊発行

eco 情報



「HEMS」
Home Energy Management System
(ホーム エネルギー マネジメント システム)

エネルギーの「見える化」と一元管理を実現。

住まいのエアコンや照明等のエネルギー消費機器と、太陽光発電システムなどの創エネ機器と蓄電池や電気自動車などの蓄エネ機器等をネットワーク化し、住居者の快適やエネルギー使用量の削減を目的にエネルギー管理を行うシステム。

ワン ジャ 王家 サイ カン 菜館

中田家の嫁、王さんが教える中国の家庭料理。ぜひ試してください。



file No.012「菜の花のサラダ中華風」



材料	
菜の花 一袋
ネギ 二本 (白のところ)
油 大さじ2
塩 少々
山椒の実 少々
唐辛子 2本
本だし 少々

- 作り方
- ① 菜の花をゆでる。
 - ② ネギを千切りにする。
 - ③ 菜の花にネギを乗せ本だしと塩を加える。
 - ④ 油に山椒の実と唐辛子を入れ熱する。
 - ⑤ 菜の花とネギの上に熱した油を加えよくかき混ぜる。
- 山椒と唐辛子の味が口の中に広がり春を感じる一品です。



最新木材事情



秩父にある(株)ウッディーコイケは明治44年創業。山の植林事業から伐採、製材、乾燥、加工、プレカット出荷まで自然の恵みを最大限に生かした高度利用を目指して最新の技術を駆使した活気にあふれた会社でした。今回の訪問の目的は木材の大敵シロアリ駆除と木の腐れの対策です。

一般のシロアリ駆除の農薬は、室内環境や効き目が5年と短い問題があります。そこで目を付けたのがヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアでポピュラーなホウ酸塩です。今回木材に加圧注入する機械を見学しました。

ホウ酸塩は哺乳類には無害で昆虫にだけ有害であり、木の腐食菌も抑え効果が持続するという、マイホームを長生きさせるための特効薬なのです。

イベントの報告 & ご案内

小山建設は夏涼しく冬温かい外断熱・二重通気工法「ソーラーサーキット」をおすすめしています！

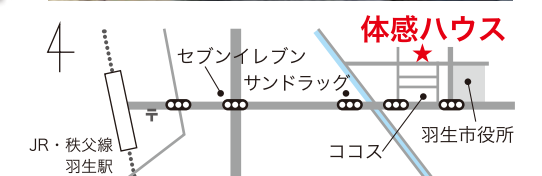
イベント報告

平成30年2月18日(日)
東京ビックサイトで行われた「住まいの耐震博覧会」。
当日は22名がご参加いただき盛り上がりました。
参加ありがとうございました。



イベントご案内

「健康と住まい」のセミナー
日時：平成30年5月20日(日) 午後1時30分開演
会場：市民プラザ205研修室
※参加ご希望の方は右記電話番号まで。



羽生市東6-5-13 ☎048-563-1123



三代目通信

いよいよ最終学年。

今年に入ってから毎日のように建築関係の企業

案内が届く、この前は情報収集を兼ねて東京

ビックサイトへ建築、建材展の展示会へ行ってきた。

建築の世界の奥は深い。

ソーラーサーキットの家



発行：有限会社 小山建設
羽生市中央2-6-3
☎048-561-6878
info@e-hous.co.jp
編集長：中田 新一

●web もご覧ください
<http://www.e-hous.co.jp/>

OB report 訪問

小山建設で建てられた住まいを訪問し、今の住み心地等をうかがいました。

今後より良い家づくりをするためのヒントを見つけたいと思います。



お客様インタビュー「蓮田市Y邸」

最初に新築の話をいただいた時に、思わず羽生の私たちに何でと聞いてしまいました。

蓮田は浦和、大宮に隣接しているため近くに大きな建設屋さんもたくさんあるというのにそれに対する答えは、大きな会社はマニュアル通りの仕事しかしてくれないので、いろいろな対応に応じてもらえない。それよりも小さくても中身のしっかりした会社に家造りを話したいということで打ち合わせが始まりました。

こだわりその1

玄関は木製ドア。高気密高断熱対応の木製1ドアは関東圏はなく和歌山の建具屋さんに発注しました。



こだわりその2

お風呂はヒノキ風呂。2階に設置するため、さすがにオール木製は責任が持てないのでハーフユニットで妥協してもらいました。



こだわりその3

リビングは開放的で機能的に2階のリビングだったので屋根裏をオープンにして吹抜調に、リビングの一角に3帖の畳コーナーも造りました。旦那様は友人が来たとき、ここで酒盛りという夢があったようですが現在は奥様の洗濯物たたみコーナーになっていました。



それ以外にも階段をオープンにしたり洗面台のミラーを窓との関係でスライドにしたり、たくさん夢のあるお家に仕上がりました。



第12回 特別編

昨年総力を挙げて取り組んだ料亭「桜茶屋別館」。

この建物に関わった匠が新年会に集合。

みんな自分が造った部分の自慢に、お酒も進みました。



匠

の仲間たち

わたしたちがいつもお世話になっている心強い匠たちをご紹介します。紹介するコーナーです。

地元・羽生市での取り組み

2017年上海、杭州レポート

20年以上続いている羽生市日中友好協会の中国ツアー、昨年10月中旬に上海、杭州へ行ってきました。気候の良い季節を選んだのに、よりによって台風一過の渦中での出発。羽生市の道路は至る所で冠水、成田空港でも欠航、遅延のインフォメーションボード、私たちの便も8時間遅れで出発、上海のホテルに着いたのは日付の変わるころ今日の予定は全てキャンセル。



二日目は予定を少し遅らせホテル出発午前9時、上海の空は日本とは打って変わって青空、思わず建物より青空を映してしまう。外灘、上海センタービル119階展望台。以前は森ビルが一番だったが数年で抜かれてしまった。眼下には高層ビルが立ち並ぶ風景が模型のように小さい。



上海の浅草と呼ばれる豫園は明代の高級官僚の邸宅跡地、今では上海一の観光スポット、外国人を含め大勢の人で連日にぎわっている雑貨屋も多く時間が少ないのが惜まれる。次の上海博物館は中国四千年の歴史を体感できる収蔵12万点を誇る中国屈指の博物館、4つのエリアに分かれているが時間を考えると1つか2つに絞らないと時間がない最後のミュージアムショップも外せない。今日のラストはフランス租界のエリアを再開発しモダンにした新天地、若者と外国人とお上りさんと賑わっている。



実質二日目、バスで杭州の途中にある烏鎮へ上海から高速道路で2時間水郷古鎮、運河沿いにきれいな街並みが広がる、古の風景がほぼ手付かずの状態で見られる。地元の若者は街を離れたが、お年寄りたちが街を守っているという。今では一大観光地、藍染め、酒蔵、彫刻屋、金属加工店、お菓子屋あらゆる店が並び観光客でごった返している日光江戸村のような処。



バスで杭州の町へ入る人口600万人の大都市だがバスから降りたとき花の匂いがした。面積の7割が山、平地が2割、湖が1割とのこと。都市部で緑に囲まれた中国を初めて見た。他の町とは空気も雰囲気もまるで違う地上の楽園。最後は杭州観光、西湖が一番有名だが最初は靈隠寺、字の印象はよくないが中国禅宗寺院十刹の一つ、326年にインドの高僧により創建。高僧が深山に隠れ住む仙靈の存在を感じたことから命名、壮大な伽藍が連なる名山。

夕食は四川料理、少し辛さを加減してもらったが十分辛い、食後舞台上で変面ショー。予定していなかっただけに十分感動した。夜は西湖での歌舞ショー、いくつかの物語が湖に特設されたステージであたかも湖で舞っているような、素敵なショーでした。今回のツアーを終えて中国の文化の豊かさと近代の中国の財政面の豊かさに触れることが出来ました。ここ4,5年の変化には驚かされました。

